



## 目が乾いたらドライアイなの？②

前号に引き続きまずは「一般的なドライアイについての解説」を引用しよう！という事で個人的に通り有名どころの「ドライアイ解説」については目を通して見たのですが…どうも専門的かつその解説を担当した先生の思い入れ？というか…検査とか治療とかの優先順位には個々の先生の個人的な意見による相違があり…それぞれの意向に沿った形式でドライアイについての説明をしてしまうのでなんだか混乱しやすいというか…。それを言ったらこれまでに藤田が書いている当フジタガンカニュースの解説なんて個人的な意見だらけな訳ですけど…。いや、なるべく色々な意見を記載する様に心がけてはいるのですが…。

実はドライアイには「幾つかのタイプ」があって、それぞれにドライアイとしては真にドライアイなんですけれど、それぞれの病型で…もちろん共通な部分もあるんですが…ちょっと微妙に違う？というか…その辺が「曖昧なまま」話が進んでいる解説が多いみたいで…どれも藤田としてはピンとこないなあ…と。

という訳でその辺が分かるように色々なドライアイ解説から抜き出して？あとは藤田が補足の説明を加えながら？話を進めたいと思うのです。ちょっと今までのフジタガンカニュースには無いパターンですね。で、最初の説明は「ドライアイ研究会」のホームページから一般の方への解説「ドライアイとは」を引用させて頂きます。ちなみに藤田はドライアイ研究会の会員なんです…実は…

<https://dryeye.ne.jp/for-general/dryeye-summary/>

@@

### ドライアイとは ドライアイは涙の病気

ドライアイは、目を守るのに欠かせない涙の量が不足したり、涙の質のバランスが崩れることによって涙が均等に行きわたらなくなる病気であり、目の表面に傷を伴うことがあります。いわばドライアイは涙の病気といえます。高齢化、エアコンの使用、パソコンやスマートフォンの使用、コンタクトレンズ装用者の増加に伴い、ドライアイ患者さんも増えており、その数は 2,200 万人ともいわれています。

※ドライアイ研究会では、ドライアイの定義を以下のように定めています。  
「ドライアイは、様々な要因により涙液層の安定性が低下する疾患であり、眼不快感や視機能異常を生じ、眼表面の障害を伴うことがある。」

## ドライアイには 2 つのタイプがある

ドライアイは、涙の量が減ってしまう「量的な異常」と、涙の性質や涙を保持する能力が変化する「質的な異常」の2つに大きく分類することができます。

### 1. 「量的な異常」

涙の分泌そのものが少ない状態です。

### 2. 「質的な異常」

涙の成分の異常、例えば、脂質成分やムチンと呼ばれるタンパク質成分が少ない、角結膜上皮に問題がある、などの原因により、涙は分泌されていても涙が目表面に留まらない、すぐに乾いてしまう、といった状態です。

「質的な異常」の一部に『BUT 短縮型ドライアイ』と呼ばれる種類のドライアイがあります。

これは、涙は分泌されているが目の表面で涙の膜が安定せず、5秒以内に涙が乾いてしまう状態をいいます。最近、パソコンなどの作業が多いオフィスワーカーやコンタクトレンズを装用している方を中心にこのタイプのドライアイが増えています。

@@

まずはココなんですよね！ドライアイには大きく分けて 2 種類あるんです。自分としてはこの二つが結構大きく異なる病態だと思うんですが二つを混ぜた説明も多くて。詳細は次回以降で説明しますので…まずは次回 Vol.163 を楽しみにお待ちください！



<http://www.fujita-ganka.com>

## 今月のお知らせ

藤田眼科は医療機関の為、今後も院内ではマスクの着用をお願いする予定です、ご理解の程お願い致します。またスギ花粉症の季節が到来しています！ご希望の方は遠慮なくご相談頂きますようお願い致します  
m( )m

FUJITA-EYE-CLINIC  
藤田眼科  
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)  
F-Vision

042  
(645)  
0575  
042  
(642)  
2911